

## 児童生徒理解・教育支援シート（試案）

### 記入例A

小学校4年生の4～6月に数日の欠席が続いたため、  
7月より学年シートの記入を開始し、  
8月には共通シートを作成。  
冬休みに教育相談部会で協議したケース

(小)

〇〇区立虎門小学校

(中)

(高)

文科 A太郎

児童生徒理解・教育支援シート(共通 シート)

作成日 :平成24年8月21日  
作成者 H27(〇〇 〇〇) 追記者 HO(記入者名)／HO(記入者名)／…

名前(よみがな)	性別	生年月日
文科 A太郎(もんか えいたろう)	男	平成14年4月15日

〇学年別欠席日数等		追記日→												
年度		8／3	8／3	8／3	3／27									
学年		小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3	高4
出席しなければならない日数		200	200	200	200									
出席日数		197	190	180	166									
別室登校		0	0	0	2									
遅刻		1	0	5	15									
早退		1	2	2	8									
欠席日数		3	10	20	34									
指導要録上の出席扱い		0	0	0	0									
①教育支援センター		0	0	0	0									
②教育委員会所管の機関(①除く。)		0	0	0	0									
③児童相談所・福祉事務所		0	0	0	0									
④保健所、精神保健福祉センター		0	0	0	0									
⑤病院、診療所		0	0	0	0									
⑥民間団体、民間施設		0	0	0	0									
⑦その他の機関等		0	0	0	0									
⑧IT等の活用		0	0	0	0									

〇支援を継続する上での基本的な情報

特記事項(本人の強み、アセスメントの情報等)

・勉強はあまり好きではないが、宿題を頑張ってやっていた。

・板書に時間がかかるが、最後まで書こうと努力した。(板書事項の精選、記入時間の配慮も必要)

・ゲームが得意で、友達と一緒に遊べる。

・友達は勉強ができるのに、自分ではできないという劣等感がある。

〇家族関係

特記事項(生育歴、本人を取り巻く状況(家族の状況も含む。)、作成日以降の変化等)

・4人家族。(父、母、本人、妹)

・父親は、大阪にH27年4月から単身赴任中。1年で戻る予定とのこと。

備考欄

児童生徒理解・教育支援シート(学年別 シート)

担任名 ○○ ○○

作成日 平成27年7月1日準備→12/24作成

作成者 担任 追記者 担任(12月からは、支援チームで記入内容を確認し、追記)

管理職名 校長・○○ ○○

名前	性別	学校名	学年	学級
文科 A太郎(もんか えいたろう)	男	虎門小	4年	2組

○支援チーム(校内・校外)

校内不登校対策委員会(担任、学年主任、校長、教頭、養護教諭、生徒指導主事)、  
教育相談部会(校内不登校対策委員会+学年主任+保健主事+特別支援教育コーディネーター)

○月別欠席状況等	※追記日→	7/1	7/1	7/1	7/25		10/1	11/2	12/1	12/24	2/1	3/1	3/27	
月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
出席しなければならない日数		15	18	22	13		20	21	19	18	15	19	20	200
出席日数		14	15	17	10		18	18	15	15	13	16	17	168
別室登校		1	0	0	0		0	0	0	0	0	0	1	2
遅刻		3	3	5	4		3	3	2	2	1	1	1	28
早退		1	0	1	1		3	1	0	1	1	1	0	10
累積欠席日数		1	4	9	12		14	17	21	24	26	29	32	32
欠席日数(出席扱いを含む)		1	3	5	3		2	3	4	3	2	3	3	32
指導要録上の出席扱い		0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0
①教育支援センター		0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0
②教育委員会所管の機関(①除く。)		0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0
③児童相談所・福祉事務所		0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0
④保健所、精神保健福祉センター		0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0
⑤病院、診療所		0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0
⑥民間団体、民間施設		0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0
⑦その他の機関等		0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0
⑧IT等の活用		0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0

○不登校(継続)の理由 3/27

- ・断続的に体調不良により欠席している。
- ・文章を書くこと、ノートをとるのが苦手。特にテストの日に欠席がある。

○本人の状況・意向

1学期 7/1	2学期 12/24	3学期 3/27
6月に腹痛を理由に、3日連続で欠席。 →シートに欠席状況のみ追記。	2学期末で欠席が20日を超えた。教育相談部会において状況を説明、共有。不登校の兆しとして対応する。	断続の欠席が続き、2月末で欠席が31日となった。不登校対策委員会で状況を確認。組織的対応を検討。登校時は、友達と仲良く過ごし、授業にもよく取り組んでいる。5年生での委員会活動を楽しみにしている。

○保護者の状況・意向

1学期	2学期 12/24	3学期 3/27
	テストのある日に休む傾向にあるため、家庭訪問時には、保護者とその件で話をした。保護者は理解を示し、協力する意向が確認できた。	週に1日くらいの欠席ながら、登校できている状況にそれほど不安はなかったようだが、年間30日を超えたことで、心配し始めた。クラス替えにも心配をしている。

○具体的な支援方針

	目標	具体的な支援内容		経過・評価
		学校	関係機関	
1学期				
2学期				
3学期	自己肯定感の向上と努力の評価	・欠席時電話連絡 ・懇談会後に面談 ・不登校対策委員会で共有、対応 3月1日	※この時点で、個別の連携なし	苦手でも努力したことを褒め、意図的な評価をしてきた。保護者との連携が取れ、宿題にも協力された。

○次年度への引継事項(支援・指導の参考となるエピソード等も含め、多様な視点で記入)3/27

- ・テストのある日に体調不良を理由として欠席することが多い。勉強ができないことにやや劣等感を持っている。
- ・内気な性格で、活発ではない。近所の友達とは仲が良く、放課後や休日は室内でゲームで遊んでいる。
- ・学年主任と担任と一緒に、学年末懇談会の後に保護者と話ができた。そして宿題にかなりの時間を要していること分かった。保護者の理解、協力も得られ、無理のない範囲で宿題を見てもらい、全部できないときは、朝の時間を使うことにも了承してもらった。
- ・テストの際は、自分の目標を持たせるなどした。また、日常生活でも自己肯定感を持てるよう配慮した。欠席でできなかったテストは、後日に行ったが、家庭訪問で保護者にお話し、家庭で行うことの協力を得たこともあった。
- 次年度は、学級編成において友人関係に配慮する必要がある。近所の友達には心を開ける。
- 保護者にとっても勉強が苦手だという認識はあったが、テストを理由に欠席しているとは、当初は思っていなかった。新担任も、保護者との信頼関係の早期構築が必要である。

# 児童生徒理解・教育支援シート(教育相談部会記録)

日付 H27.12.24

記録者 生徒指導主事

学年・組	名前	参加者・機関名
4年2組	文科 A太郎	不登校対策委員会(担任、学年主任、校長、教頭、養護教諭、生徒指導主事)

## ○本人の意向

- ・作文やノートをとることが苦手。できればやりたくない。
- ・勉強はあまり好きではない。友達とゲームの話をするのは楽しい。

## ○保護者の意向

- ・家庭ではこれまで、あまり困ったことがなかった。
- ・勉強が嫌いなことは承知している。宿題については、協力する。

## ○関係機関からの情報

## ○支援状況

支援目標		
自己肯定感の向上と宿題も含めた学習への努力を評価する。		
機関・分掌ごとの役割分担	短期目標 12/25	経過・評価 3/27
担任・学年	家庭への働き掛け 宿題の配慮(量と対応) 板書時間の確保(学年)	・電話連絡時の情報交換、懇談会後の面談で信頼関係を構築した。 ・宿題や授業への配慮から、欠席は急増していない。
学年主任	本人への声掛けと努力の評価	・普段の生活の評価をし、努力を認めた。
教育相談部会 →不登校対策委員会	組織的対応・情報共有	学年末の部会で情報共有し、対応を協議。次年度へ引き継ぐ情報を確認。

## ○確認・同意事項

- ・欠席が急増しなかったことから、一定の成果が見られる。次年度は、1学期より配慮できることを早期より対応する。
- ・次年度は、不登校対策委員会で情報共有、対応検討を行う。

## ○特記事項

夏休みの宿題は、保護者の協力で全て提出できた。